**当院にて手術をお受けになる方へ**

当院では外科手術中の患者様を安全にかつ適切に麻酔管理することで、術後回復を最適化できる診療を行なっております。手術の内容や患者さんの全身状態など様々な要因が異なるなかで、それぞれの患者さんが出来るだけ早期に、良い状態で退院されるような理想的管理方法を見出すには継続的に実際の麻酔管理の調査検討が必要です。

【研究課題】

術中圧波形と心エコー所見の関係性の検討

※本研究は研究課題「周術期管理を理想的にする最適なパラメータの検討(倫理承認番号：2203-(8))」の個別研究として実施されます。

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・外科学専攻・麻酔学講座

　研究責任者　麻酔科・痛みセンター・講師　　　　朝元　雅明

　研究従事者　麻酔科・痛みセンター・病院診療医　赤刎　真一

担当業務　データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

　2022年6月1日〜2023年3月31日

【対象となる方】

**2021年4月1日 ～ 2022年9月19日の間**に当院にて、手術を受けた患者さんのうち、術前に心臓超音波検査を受け、かつ術中に中心静脈内にカテーテルを挿入して圧波形測定を行った患者さん

【研究の意義】

　術中の患者状態をモニタリングするために中心静脈圧測定をすることが普及しております。中心静脈圧の数値データを指標にして術中管理を遂行することは日常的に行われていますが、圧波形の形状を使用した解析は普及しておりません。循環パラメータが圧波形の形状に与える影響を理解することは、術中管理に役立つと考えております。今回、循環パラメータとして術前の経胸壁心エコーと術中の圧波形の形状の解析を行います。

【研究の目的】

　術中圧波形と心エコー所見の関係を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。**対象患者さんの術前の経胸壁心エコーデータ、術中の中心静脈圧および波形データなど、診療中に得られたデータ**を収集して行います。過去の診療記録を元に行いますので、該当する患者さんの現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、新たにご負担いただくこともありません。

【個人情報の保護】

　この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

収集されたデータは、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において朝元雅明が、施錠された部屋の中で鍵のかかるロッカー、および個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコン）で厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。2022年11月1日までにご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせて頂きます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等に発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

2022年9月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院

麻酔科・痛みセンター　　　　　　　　　　病院診療医　赤刎　真一

麻酔科・痛みセンター　　　　　　　　　　　　　講師　朝元　雅明

麻酔科・痛みセンター　 科長　内田　寛治

住所：東京都文京区本郷７－３－１

電話：03-5800-8668　 FAX：03-5800-8938

Eメールでのお問い合わせ：

akabanes-ane@h.u-tokyo.ac.jp

masamoto-ane@h.u-tokyo.ac.jp

uchidak-ane@h.u-tokyo.ac.jp